

なお、障害者の作品を常設するミュージアムとしては、前述のポータレス・アートミュージアムNO-MAのほかには、北海道遠軽町丸瀬布にマウレ・メモリアル・ミュージアムの例がある。同館は旧丸瀬布町立武利小学校校舎を活用した施設で、身体障害者支援や自立という地域が抱える課題に最も望ましい在り方を唱える「世界障害芸術家協会」の協力のもとに作られ、国内外の同協会会員の作品を展示する「ディスプレイド・アーティスト・ギャラリー」がある。また、栃木県那珂川町にある「もうひとつの美術館」も、同じく旧小口小学校を活用した特定非営利活動法人が運営する施設で、障害者の芸術文化活動をサポートしつつ、「みんながアーティスト、すべてはアート」をコンセプトに、年齢・国籍・障害の有無を超えたアートを発信している。このほか、東京都調布市には、出産時のトラブルで脳に障害を抱えながら油彩画などを描き続けている田中瑞木氏の作品を常設展示する「田中瑞木美術館」がある。両親が中心になって立ち上げた特定非営利活動法人海から海へが運営する個人美術館で、全国各地で個展も開催している。今後、こうしたミュージアムが各地で設立されることを期待したい。

また、障害者の作品展等は、どうしても来場者が関係者に限られてしまうが、「ピクチャートレイン美術館」は、障害者週間(12月3日～9日)、障害者の日(12月9日)に合わせ、電車の中吊りや網棚上の広告スペースに東京都内の国公立盲・聾・養護学校、心身障害学級に通う児童生徒の絵画作品を展示するもので、2001年にJR山手線一編成で初めて実施した。(主催:東京都立心身障害教育学校長会、東京都特殊学級設置校長協会、東京都心身障害教育学校PTA連合会、共催:読売新聞東京本社)同展が大きな反響を呼んだことから、翌年には京浜東北線でも運行し、以後毎年実施されている。展示された千点を超える作品には、児童生徒本人や指導教員のコメントが添えてあり、障害者教育や「心のバリアフリー」に対する理解の増進に大きく寄与している。また、NHKでも「ハート・プロジェクト」の一環として、「ハート・ストリート」を実施しており、11月から12月にかけて渋谷の公園通り周辺の街路灯に障害者の作品五百点を掲載したフラッグがたなびいたり、いくつかの施設や店舗には作品が展示されている。2004年6月の障害者基本法の改正によって、「障害者週間」が法律上に明記されたことによって、特に12月はこうした展示やイベントを見かけることが多くなった。民間企業でも、例えば、三菱電機ビルテクノサービスでは、世界各国の障害者画家が口や足に絵筆をとって描いた絵画を展示する「世界障害者絵画展」を毎年全国各地で開催している。同絵画展では、口と足で描く芸術家協会(本部:リヒテンシュタイン公園)の協賛により、同協会会員の作品も展示している。

今後さらに、全国的にこうした取組が進展することを期待したい。

(参考)

「だれもが楽しめるユニバーサル・ミュージアム」(広瀬浩二郎編著、読書工房、2007年)

「ミュージアム列島東西南北」(栗原祐司著、「週刊教育PRO」(日本教育総合研究所)掲載、2007年)

# 障害者アート推進のための懇談会

## ～ぬくもりのある日本、みんなが隠れた才能を持っている～ について

### 1. 趣 旨

社会に生きる人たちがすべてがかけがえのない存在として大切にされ、自分の個性や才能をいかしながら、社会に参加・貢献できる「ぬくもりのある日本」の実現を目指し、障害のある方々による自由な芸術活動を推進するため、広く関係者が意見交換を行い、必要な社会的取組について提言を行う。

### 2. 実施方法

別紙の者の協力を得て、上記趣旨に沿った検討を行う。

検討に当たっては、別紙以外の者の協力を得ることができる。

### 3. 実施体制

池坊文部科学副大臣及び岸厚生労働副大臣の指揮の下、文部科学省及び厚生労働省の関係部局が協力して取り組むものとする。

### 構成員(敬称略、五十音順)

今中 博之	アトリエ インカーブ エグゼクティブディレクター 社会福祉法人素王会理事長、一級建築士
高木 金次	財団法人日本チャリティ協会理事長
建畠 哲	国立国際美術館館長
根本 友己	東京都立立川ろう学校長
はた よしこ	ボーダレス・アートミュージアムNO-MAアートディレクター すずかけ絵画クラブ主催、絵本作家
日比野 克彦	東京芸術大学美術学部先端芸術表現科教授、アーティスト
広瀬 浩二郎	国立民族学博物館民族文化研究部准教授

## 障害者アート推進のための懇談会 検討経緯

- 第1回 平成19年12月21日  
● 自由討議:「障害者アートの推進について」
- 第2回 平成20年1月29日  
● 意見交換:「障害者アートの課題について」
- 第3回 平成20年3月13日  
● 意見発表  
・委員意見発表 広瀬 浩二郎 氏  
・外部有識者意見発表 服部 正 氏(兵庫県立美術館学芸員)
- 第4回 平成20年3月28日  
● 意見発表  
・外部有識者意見発表 金城 馨 氏(沖縄県立島尻養護学校美術教師)  
● 報告書骨子(案)について
- 第5回 平成20年4月23日  
● 意見発表  
・委員意見発表 高木 金次 氏  
● 報告書骨子(案)について
- 第6回 平成20年6月11日  
● 懇談会とりまとめ(案)について

